

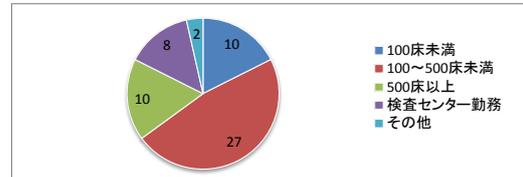
日時：4月20日（土）、15:40～18:00  
 場所：千葉市生涯学習センター 大研修室  
 研修会内容  
 テーマ：「ん、なんか変?? 検査結果と血液形態から血液疾患を推察してみよう！」  
 演題内容  
 演題1「ん、なんか変?? 変な赤血球がいる！」  
 千葉県済生会習志野病院 検査科 深海 律子 技師  
 講演2「ん、なんか変?? 変な白血球がいる！」  
 亀田総合病院 臨床検査室 本井 貴子 技師  
 講演3「ん、なんか変?? 変なリンパ球がいる！」  
 順天堂大学浦安病院 臨床検査医学科 中村 紀子 技師  
 講演4「いまさら聞けない血液検査 一末梢血細胞分類について」  
 順天堂大学浦安病院 臨床検査医学科 澤田 朝寛 技師  
 参加人数 80名



アンケート結果(56/80 有効回答率:70%)

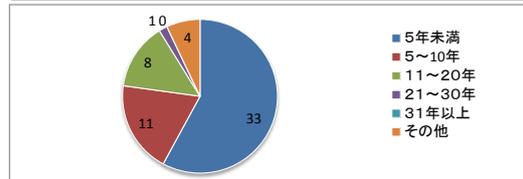
1. あなたの勤務先の病床規模はいつですか。

100床未満	10
100～500床未満	27
500床以上	10
検査センター勤務	8
その他	2



2. あなたの血液検査経験は何年ですか？

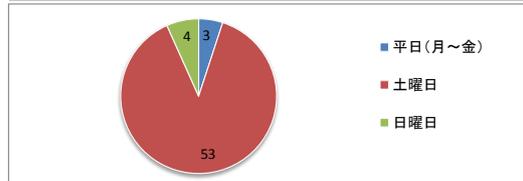
5年未満	33
5～10年	11
11～20年	8
21～30年	1
31年以上	0
その他	4



3. 研修日について、希望の曜日または時間はありますか。

平日(月～金)	3
土曜日	53
日曜日	4

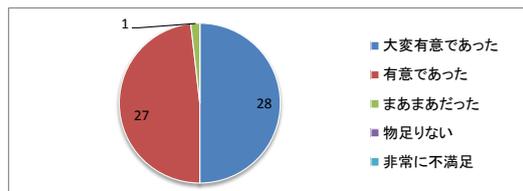
- ・平日19時から
- ・平日8:30時から
- ・土曜日PMから
- ・土曜日15時から
- ・土曜日AM10時から
- ・土曜日16時から
- ・土曜日14時から
- ・土曜日15～17時から
- ・日曜日10～12時から
- ・特になし



4. 今回の血液研修会についてどのような印象をお持ちですか？

大変有意であった	28
有意であった	27
まあまあだった	1
物足りない	0
非常に不満足	0

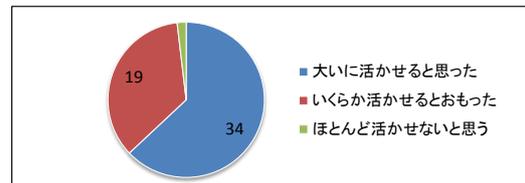
- ・今まで幼弱な好中球、異形リンパ球を重要視し、破碎赤血球や血小板の大きさなどをしっかり見ていなかったのが意義がバッチリ判りました。ありがとうございました。
- ・症例についていろいろ検査から考えられた。
- ・基本的な事項の再確認が重要であると思いました。日々わかっていくつもりで仕事をしていると症例を見逃してしまうと反省。
- ・症例検討をあまり日頃から行っていないので、どの点に注意するかが分かり良かった。
- ・初心者なので基本的な所を教えてください、勉強になりました。
- ・疾患につなげて考えていくことが大事であると再認識できた。
- ・検査データから疾患を導く勉強ができ、大変ためになった。
- ・毎日の仕事上、見られない症例を見ることより参考になった。
- ・異常形態細胞と疾患について説明が非常に分かりやすかった。
- ・赤血球形態は意識が薄かったが、もっと注意していきたいと思った。
- ・TTPについて非常に勉強になった、データだけでは良く理解できない
- ・ADAMTS13を検査する必要性、血小板輸血の危険性、勉強になりました。
- ・鏡検する時、大事なpointがわかった
- ・たまに覗くだけ、また血算のスキヤットグラムも理解できぬまま、おかしいと思えば外注先への依存手にするのは赤本のみ、深く理解するには相談先もなし。どの様な分類、IPメッセージの解釈、なにを解かっているか、再度見直しが必要と知りました。
- ・日頃の業務の見直しができそうです。技師長と相談していきたいと思えます。
- ・異形リンパ球で悩んでいたのが、少し楽になりました。
- ・破碎赤血球の判定は悩むところで、スキヤットの見方、使い方もわかりました。
- ・像をみる上でのポイントを勉強できた。データと像の両面から見ていく内容がとても勉強になりました。



5. 研修内容は今後の職務に活かせると感じましたか？

大いに活かせると思った	34
いくらか活かせるとおもった	19
ほとんど活かせないと思う	1

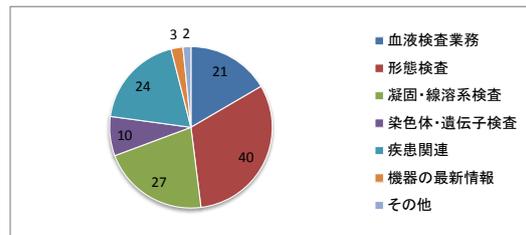
- ・なんとなく見ていたものも、他のデータ（生化学、凝固、etc）と照らし合わせて考えていけそうです。
- ・生理機能の為、血液検査は当直のみ担当します。エコー検査時、データを見るときに参考になると思います。
- ・改めてEBウイルス感染やM3について確認できた。
- ・当院には血内がなく、像目視もおこなっていないため、このような患者様は転送されていると思います。
- ・検査結果からどのような疾患であるかを推察することは非常に重要で臨床への情報量を増やすことができる（次に行うべき検査項目などの情報提供など）
- ・普段、病理・細胞診業務についておりギムザを見ているので今後にかかしていきたいと思う。
- ・検査データを見る上で役立つと感じた。
- ・当院では目視を行っていないため
- ・異常細胞の判定に活かしていきたいと思います。
- ・小さな病院で血液を専門にやっていないので、とてもタメになった。
- ・血小板凝集の見方、TTPの重要性、etc
- ・形態検査（血像）基本が学べてよかった→末梢血像検査で何が解る？で
- ・日本検査血液学会HPを見てください。
- ・なにか変と思うことが大事
- ・見直しの機会であった。しかし近くで形態検査、機器の使用法の指導が受けられればいいのに
- ・血算や鏡検だけではなく凝固・線溶系検査や生化学のデータからも疾患のヒントが得られることができそうです。
- ・カバーガラス法を初めて知ったので、今度行ってみようと思います。
- ・凝固検査 INR etc
- ・判定基準があいまいな所があったので参考となった。
- ・日常業務に直結する内容であった。
- ・血算データ、像、生化学のデータなど広く物事を見る様、明日から実施していきたいです。



6. 今後の血液研修会の内容について、一番関心の高いものは何ですか。（複数回答可）

血液検査業務	21
形態検査	40
凝固・線溶系検査	27
染色体・遺伝子検査	10
疾患関連	24
機器の最新情報	3
その他	2

- ・機器の内容理解



7. 今後、希望する研修会テーマはございますか。

- ・特になし
- ・マルクの基本
- ・ありふれた症例について
- ・実際の塗抹標本を顕微鏡で見る実技講習会があると勉強になります。
- ・形態の基礎
- ・このような勉強会を他分野の研究班とも合同でCPCのような勉強会が実施できれば良いのではと考えます。
- ・形態検査の画像の勉強
- ・今回のような実際の症例から学べるようなものが良いです。
- ・実技（血液像）
- ・凝固・線溶系について実際の症例も一緒に
- ・初心者向けの研修会をやっていただけると嬉しいです。たくさん細胞、正常～異常をみせてほしい。
- ・内部精度管理（管理幅の決定、凝固検査の校正頻度、等）
- ・凝固・・・混合補正試験、血小板凝集能の結果の見方
- ・形態、疾患関連（機械からの情報理解と応用のために）
- ・凝固・線溶の講義を基礎的な部分からして欲しい。
- ・骨髄検査の実際行っている現状
- ・骨髄像について
- ・血球算定器のデータから標本を見る必要性の判断基準



8. 血液検査研究班に、なにかご意見はありますか？

- ・澤田氏のトークが流れるようにスムーズで良かったです。すばしかったです。
- ・わかりやすく、血液検査が楽しくなりました。像は好きですが、今は生理機能のため・・・
- ・非常に有意義な会でした。今後も参加していきたいと考えます。
- ・当てられるのは嫌だな・・・
- ・症例検討がみたいです
- ・相談、指導者に恵まれない現状には日臨技の赤本です。赤本を片手に講義があると初心からの出発、基本の手がかりをしっかり手元にあるということで勉強ができるので良い
- ・先例の勉強会の別に小グループの形態学などあったらいい。もちろん月謝ありで。
- ・干臨技ホームページにアトラスみたいのが欲しいです。
- ・今日の内容は良かったです。おもしろかったです。
- ・ありがとうございました。
- ・とても勉強になりました。ありがとうございました。